

令和6年11月12日

壱岐市長 篠原 一生 様

壱岐市総合計画審議会
会長 川崎 裕司

第4次壱岐市総合計画（案）について（答申）

令和5年10月23日付け5壱政第448号により本会に諮問のありました第4次壱岐市総合計画（案）について、慎重に審議を重ねた結果、概ね妥当なもの認め、次のとおり付帯意見を付して答申いたします。

なお、審議の過程における主要な意見、要望については別紙に付記しますので、これらの意見や要望を尊重され、第4次壱岐市総合計画の施策を確実に推進されますよう格別のご配慮をお願いします。

記

- 1 総合計画は、壱岐市における最上位計画に位置付けられています。また、壱岐市自治基本条例で定めた自治のまちづくりの具体化を図るための計画です。この総合計画の実施にあたっては、市民・事業者・行政などがそれぞれの役割を果たし、連携しながら地域の課題を解決する市民主体の地域づくりを積極的に推進されるよう期待します。
- 2 本市の人口減少や高齢化は、今後の5年間の間にも、さらに進行することが示されています。人口減少をわずかでも抑制することが重要であり、地方創生も含め、地域資源を活用した産業振興による雇用の確保と関係人口の拡大に積極的に取り組まれることを期待します。
- 3 本計画を広く市民に周知し、市民との協働を進めることと政策ごとに設定されている成果指標については、PDCA（「計画」「実行」「評価」「改善・検証」）サイクルにより事業評価、進捗状況等の確認を行うとともに、第三者による行政評価を行い、成果を重視した行政運営を期待します。

第4次壱岐市総合計画(案)に対する審議会意見

令和5年10月23日	第1回審議会
令和6年 2月27日	第2回審議会
令和6年 5月27日	第3回審議会
令和6年 9月27日	第4回審議会
令和6年11月12日	第5回審議会

【全 般】

- 1 本計画の趣旨や内容をわかりやすく広く市民に周知し、事業を実施されることを要望します。
- 2 「一緒に前へ、壱岐新時代へ。」を合い言葉に、市民一人ひとりが主役となり、それぞれの幸せを実感できるまちづくりを進めていただきたい。

【1. 希望の仕事があり稼ぐ力がある島】

- ・一次産業のスマート化、販路拡大やブランド化の取組等を推進し、担い手不足の解消に努められたい。
- ・若者が島に残るまたは島外に出た若者たちが戻りたいと思えるような雇用機会の創出、所得の向上を目指すとともに、定住促進のための支援の充実を図られたい。
- ・ふるさと納税の取組を強化することで地場産業の活性化を図りながら、壱岐産品の知名度向上に繋げられたい。

【2. すべての市民が自分らしく安心して健康に暮らせる島】

- ・まちづくり協議会とともに協働のまちづくりを推進し、持続的に安心して暮らせる地域コミュニティの維持・活性化に努められたい。
- ・健康づくりの推進および地域医療体制の充実に努め、健康寿命の延伸を図られたい。
- ・地域での見守り体制の構築やボランティア活動等による地域福祉力を高めるとともに、高齢者福祉、障がい者福祉の充実に努め、誰もが安心して健康に暮らせる環境整備を図られたい。
- ・性別に関係なく、労働における正当な地位が確保されるとともに、働きな

がら安心して子育てができる労働環境の整備を促進し、平等な社会の実現に取り組まれない。

【3. 未来を育む子育てと学びの島】

- ・結婚・出産から子育てまで切れ目のない、きめ細かな支援とあわせ、安心して出産・子育てができる環境整備を図られたい。
- ・一人ひとりに応じた最適で質の高い教育の充実に努められたい。
- ・市民ニーズに応じた公民館講座等の充実により、生涯に亘って学べる環境の整備を図られたい。

【4. 地域の価値と新しい人の流れが未来をつくる島】

- ・宿泊施設のリニューアル推進や高付加価値な観光コンテンツの造成とともに、大都市圏を中心としたプロモーション活動の強化を図られたい。
- ・再生可能エネルギー（洋上風力発電等）を核としたまちづくりの推進を図られたい。
- ・豊富な歴史文化資源、自然環境の効果的な活用による地域振興を図られたい。
- ・U I ターン者や関係人口の更なる増加のため、地域の魅力を一層向上させるとともに、エンゲージメントパートナー制度との連動による多様な交流の推進等により、壱岐ファンの拡大につなげられたい。

【5. 持続可能な社会基盤が整い安全な暮らしを守る島】

- ・ごみの減量化やリサイクルのさらなる推進を図られたい。
- ・I C Tを活用したまちづくりを進めるとともに、高齢者等に情報格差による不利益が生じないような対策を図られたい。
- ・公共交通については市民の利便性が損なわれないよう維持・活性化に取り組まれたい。島内交通においては、新たな移動手段の導入可能性について、関係機関と連携し検討を進められたい。
- ・社会基盤インフラの適切な維持管理、長寿命化を図られたい。
- ・災害に強い、安心・安全なまちづくりを進められたい。

【6. 効率的で質が高く持続可能な行政力を備えた島】

- ・デジタル技術の活用により、市役所の業務効率化と市民の利便性の向上を図られたい。
- ・P D C Aサイクルにより施策・事業の点検、見直しを行い、事業の推進に努められたい。